

令和5年6月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和5年6月29日(木)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時17分	
3 出席委員	教育長	三宅泰司	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
	委員	上西芳樹	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	岸川和忠	教育次長	島田和男
次長(教育総務部長兼務)	疋田洋一	学校教育部長	植山智恵
生涯学習部長	道広浩章	参事(教育給与課長事務取扱)	今村正樹
教育企画総務課長	山邊真由美	教育企画総務課企画調整担当課長	佐藤美穂
就学課長	松本豊	就学課学校調整担当課長	政久秀生
保健体育課長	藤井健介	生涯学習課長	上野喜宣
岡山っ子育成局子育て支援部 地域子育て支援課課長補佐	目黒恭広	事務局 (教育企画総務課主査)	藤野彰
事務局 (教育企画総務課主事)	難波実佑		
5 議題及び結果			
議案 第16号	岡山市教育委員会職員安全衛生規則の一部を改正する規則の制定に ついて		原案可決
議案 第17号	岡山市立学校の学校規模適正化についての基本的な考え方の改訂に ついて		原案可決
6 教育長等の報告[令和5年5月13日(土)～令和5年6月12日(月)]			
5/25	教育長学校訪問	御野小学校	教育企画総務課
5/26	教育長学校訪問	福南中学校 江西小学校	教育企画総務課
5/31	教育長学校訪問	岡山中央小学校 吉備中学校	教育企画総務課
6/1	教育長学校訪問	第一藤田小学校	教育企画総務課
6/2	二十歳の集い	第1回実行委員会	地域子育て支援課

7 議事の概要

教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定刻が参ったので、ただいまから6月岡山市教育委員会定例会を開会する。傍聴者はいない。 それでは、日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。
全委員 教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〈承認〉 ○ 日程第2、5月定例会の議事録について、順次ご覧いただき、問題がなければご署名をお願いします。 日程第3、事業報告について、何かご質問等があればお願いします。
河内委員	<ul style="list-style-type: none"> ○ お忙しい中、精力的に学校を訪問してくださっている。全体をまとめてでもよいし、それぞれでも結構だが、何かお気づきのことがあったら教えていただけたらと思う。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校訪問で学校の中を1時間ほど見て、校長と話をしている。やはり地域性があって、それぞれ実態が違って、落ち着いているところもあれば、なかなか教室に入れないことがあるなどしている。どこもありがたいのは、子どもに寄り添ってくださっている雰囲気がとてもあって、校長と一緒に回るとき、特に小学校などは、まわりつづくように校長に寄ってくる児童がとても多い。校長が校内を回っていて、朝の挨拶をすとか、中学校もだが、外へ出ている生徒が、校長と話ができているところが一番ありがたいと思っている。岡山市のいいところは、その子どもに寄り添っているところだと思うので、過去、本当に殺伐とした雰囲気というのが、かつての学校問題のときはあったので、そこはそれぞれいい流れでできていると思って安心をしているところである。
河内委員 教育長 地域子育て支援課 課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ○ ありがとうございます。 ○ それでは、二十歳の集いについて、説明をお願いします。 ○ 今年度の二十歳の集いについては、令和6年1月7日にシティライトスタジアムで同じく開催しようと考えている。昨年度まで2部制で行っていたが、感染症のほうも少し落ち着いているので、今年度は同じ学年の対象者の方が一堂に会せるように1部制での開催で、現在計画を進めているところである。6月2日に第1回の実行委員会を開き、6月20日にも11名で実行委員会を行って、現在のテーマ、コンセプトなどを今練り上げていっているところである。
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ それでは、議事に入る前に、会議の公開、非公開についてお諮りをする。 日程第5の第18号から第19号議案は、附属機関等の委員の任免に関する事項に該当する。そのため、岡山市教育委員会会議規則第7条第1項第2号に基づき非公開としたいと思うが、委員の皆様、よろしいか。
全委員 教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〈承認〉 ○ それでは、第18号から第19号議案は非公開とする。 日程第4、第16号議案を教育給与課から説明をお願いします。
教育給与課長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第16号議案岡山市教育委員会職員安全衛生規則の一部を改正する規則の制定についてである。 教育委員会職員安全衛生委員会の委員数を10名から12名に改めるため、本規則の一部を改正しようとするものである。2名増は、教職員組合推薦と生涯学習課長をそれぞれ1名プラスするということである。 改め文、新旧対照表のとおり、この規則は、ご承認いただいて公布の日から施行としたいと考えている。
教育長 全委員 教育長 全委員 教育長	<ul style="list-style-type: none"> ○ ご質問、ご意見等あったらお願いします。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、第16号議案を原案どおり可決してよろしいか。 ○ 〈承認〉 ○ それでは、第16号議案を原案どおり可決する。

<p>学校調整担当課長</p>	<p>続いて、日程第4、第17号議案を就学課から説明をお願いします。</p> <p>○ 岡山市立学校の学校規模適正化の基本的な考え方（改訂版）（案）について説明する。資料としては、改訂の目的、これまでの取組、これらをまとめたものである。</p> <p>目的として、学校教育法の改正の義務教育学校が新設されたこと、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の改正での35人学級編制、過小規模校、過大規模校への対応を分かりやすく示す、この目的で改訂を行っている。</p> <p>これまでの取組であるが、この改訂版について関係課と検討するとともに、有識者の方からも個別に意見聴取をし、ご意見をいただいている。</p> <p>次に、学校規模適正化についての基本的な考え方の案である。</p> <p>また、別冊の資料では、前回、適正規模の教育環境づくりが肝ではないか、趣旨について残しておいたほうがよいのではないかとのご意見をいただいて、初めのところで趣旨の説明をしている。</p> <p>前回、改訂版だけを見て分かるようにしたほうがよいのではないかと、手順が分かりにくいというご意見をいただいていた。この学校規模適正化の手順、こちらを整理をしている。手順としては、1番として、毎年5月1日付の児童・生徒数、学級数を基に適正規模校以外の学校を把握をする。そして、その学校について地域の状況、歴史的背景、今後の児童数の推計などの状況把握。それらを把握して、それを基にフローチャートの流れに沿って検討をしていくという手順で進めていく。</p> <p>この学校規模適正化については、保護者、地域の理解を得ながら進め、地域の願いを尊重していく考え方はこれまでと同様であり、一律の基準のみで画一的に学校規模の適正化を進めるものではない。</p> <p>また、子ども・文教委員会でもこの適正規模化についての説明をし、文言についてご意見をいただいて修正を加えている。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ ご意見をいただいたところを修正したということだが、この機に何かご質問、ご意見等があればお願いします。</p>
<p>河内委員</p>	<p>○ とても分かりやすく読ませていただいて、スッと理解ができるものになっているなど感じた。</p> <p>1つ、具体的に教えていただきたい。義務教育学校新設に関わる内容で、義務教育学校も過小規模校をまとめて義務教育学校にしていくとあり、そういう流れが今後できるのかなと思うが、その学校の再編とか統合と違って、義務教育学校ならではの課題点というか、義務教育学校をつくるからこそその課題というか、そういうものを具体的に教えていただけたらと思う。</p>
<p>学校調整担当課長</p>	<p>○ 義務教育学校について、統合して子どもたちからの意見としては、よかったという意見をアンケートでもいただいているので、今のところ課題というものは、はっきり見えていないと聞いている。</p>
<p>河内委員</p>	<p>○ 今の山南学園義務教育学校はすばらしいなど、ああいう学校がどんどん増えていったらいいなどと思う反面、例えば中学校の先生が小学校の授業をするというようなことが、過小規模校など、そういう地域であるからこそ今後どんどん人数が減っていったりして、義務教育学校をつかっていったけれども減っていったら、そこが教員数とか何かの関係でそういうことがそれまでどおりできるのかどうかとか、そういう何か具体的な課題があるか。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 蛍明小学校と足守小学校は一緒にならなかった。蛍明小学校と足守中学校は一体型校舎であり、義務教育学校ではない。現状、少し蛍明小学校が減っている。以前から中学校の先生が、兼務として英語の授業をやってもらったりしていたけれど、距離があったらやはり行ける回数も減り、メリットとしては義務教育学校の中で回すことはあるかと思う。</p> <p>今、学校調整担当課長が山南学園の課題はないと言われたのだが、私が聞いていることは、6年生の卒業式がなく、中学校1年生にかかるところの7</p>

<p>企画調整担当課長 教育長</p>	<p>年生の入学式がない。入学式は小学校1年生で、9年生のときに卒業式がある。どこで切りをつけるかというところで、区切りがつきにくいということ。6年生の旅行を卒業旅行、修学旅行なのか、その9年間で見る分、間の6年生、7年生のあたりがどういうメリ張りをつけるのかというのは、またどこかで聞けることとなるか、企画調整担当課長いかがか。</p>
<p>河内委員 教育長</p>	<p>○ 2学期に訪問の計画を、今始めているところである。</p> <p>○ その辺は興味がある。小学校1年生が入学式のときに、9年生が出迎えてくれるというのは、ものすごくよかったらしい。しかし、中学校3年生の生徒が行くということだけれど、6年生はそのようなものがなくなっている。どうするのかというのは、まだこれからなのだが、あの頃僕らはああだったなという効果はあると思う。その小学校6年生の切りのところがあったのが、なくなったがゆえにメリ張りがつくのかつかないのか。段差はないのかもしれないけれど、中学校1年生というところで、そこは気になっている。</p> <p>だから、河内委員が言われるように、過小規模校でいくとどうしても将来的に減少が見えているから、義務教育学校の後期課程で複式が出てくるというようなことも起きかねないので、そうなれば教員数が減ることもある。</p>
<p>全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ そうなっていたときに中学校の先生が小学校に行くなど、お互いにということもあるか。</p> <p>○ 義務教育学校としてメリットがあるような職員配置を考えないといけない。それは主体として、ある程度、政令市であればできることであり、そういった考えは持ったほうがいいかもしれない。すぐにはならないと思うけれど、どこかでそういう課題は確かにあるとは思う。</p> <p>ほかにご質問やご意見があればお願いします。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、第17号議案を原案どおり可決してよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 第17号議案を原案どおり可決する。</p>
<p>傍聴の状況</p>	
<p>報 一</p>	<p>道 般 0名 0名</p>

令和5年6月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和5年6月29日（木）		
2 開会及び閉会	開会	14時17分	
	閉会	14時24分	
3 出席委員	教育長	三宅泰司	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
	委員	上西芳樹	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	岸川和忠	教育次長	島田和男
次長（教育総務部長兼務）	疋田洋一	学校教育部長	植山智恵
生涯学習部長	道広浩章	教育企画総務課長	山邊真由美
保健体育課長	藤井健介	生涯学習課長	上野喜宣
事務局 （教育企画総務課主査）	藤野彰	事務局 （教育企画総務課主事）	難波実佑
5 議題及び結果			
議案 第18号	岡山市学校給食運営検討委員会委員の委嘱について		承認
議案 第19号	岡山市社会教育委員の委嘱について		承認